



宮古の住まいを考える会 宮古・下閉伊・山田

[グループの特徴とメッセージ]

- 宮古の住まいを考える会は、「宮古下閉伊地域の風土と気候にあった性能と設備を持ち、快適で長命な住まい造りを通して、地域の発展に貢献する」と規定し、地域性を生かした健康で、快適な住空間を提供することを目的に活動しています。
- 設計事務所・建築業者・流通業者で組織し結成後18年の長い実績で、宮古・下閉伊地域に高性能住宅を広くアピール・建設してきました。震災後応急仮設住宅建設に始まり、自分たちが出来ることで復興に役立つことがあるならば、何でもやる覚悟で頑張ってきました。
- 復興住宅が地元の経済活性化につながり又、地元職人が後継者を育成でき、1人でも多くの若者が地元で暮らせるよう、地元企業に復興住宅を依頼して頂きますようお願いいたします。

[地域型復興住宅のイメージと特徴]

地域材にこだわった家づくり

- 宮古、下閉伊地域の木材を24㎡、全体の83%使用した住宅です。
- 柱は宮古産のスギ、梁は岩泉産の赤松、内部の羽目板、フローリングにもスギや赤松を使用しました。
- 内部建具も地元の建具職人が製作し、木のぬくもりを感じることでできる安全で、快適な住空間を提供します。

地域の気候風土にあった温かな住まいづくり

- 沿岸地域特有の冬場の良好な日差しを有効活用出来るように、南面開口部を大きくとり、庇での夏場の日射遮蔽や、上下の気流を利用した通風計画とパッシブな計画をしています。



グループの基本情報		地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
所在地	宮古市上村 2-3-16 (有)甲斐谷建築企画内	主な構造・工法	木造軸組工法
グループ構成	合計9社(原木供給/0社、製材/1社、建材流通/1社、プレカット/0社、設計/2社、施工/3社、その他/2社)	価格帯	1,500~2,000万円
代表者名	加藤 尚(加藤設計 代表)	価格の基準面積	120㎡
主な受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年岩手県ローコスト住宅アイデアコンテスト最優秀賞受賞 ・平成8年住宅セミナー開催 ・平成14年みやこ型住宅標準モデル基本設計 	価格に含まれない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費
連絡窓口	甲斐谷修治 [メール] kaitani-kk@violet.plala.or.jp [電話] 0193-63-7311 [FAX] 0193-63-7316	*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。	
ホームページ	http://www16.plala.or.jp/kaitani/		